

セイワ ガソリンエンジン式高圧洗浄機

ちょ～軽

型 式 CK-1010G
 CK-1513GSR

取扱説明書



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み
正しくお使いください。誤った取扱は機械の
故障や大変な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるよう
に大切に保管してください。

この度は、**SEIWA**「ちょ～軽シリーズ」をご選定いただき
まして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上又は安全上、部品の交換を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きい事を示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

1	安全のために	1
2	仕様諸元表	2
3	各部名称、機能及び、基本操作	3・4
4	作業操作手順	5～7
	4-1 始動	5
	4-2 停止	6
5	保守点検	8・9
	5-1 オイル点検	8
	5-2 カバーの脱着	9
6	トラブル対策	10
7	メンテナンス	11
8	警告ラベル貼付位置	12

1 安全のために

警告

- 噴出口に指や手を当てたり、のぞき込んだり絶対にしないでください。
- 人体に向けて、絶対に、洗浄ガンの引金を引かないでください。
- 洗浄ホースを強く引張ったり無理に曲げたりしないでください。又外観に深いキズが付いていたり、折れ曲がったりつぶれたりしているホースは破裂して水が吹き出す恐れがあり危険です。
- 引火性、爆発性ガスのある場所では使用しないでください。火災や爆発事故につながり危険です。
- 風通しの悪い場所、排気ガスがこもる場所では使用しないでください。有害な一酸化炭素がたまり、ガス中毒の危険があります。
- ガソリンを給油する時は、エンジンを止め、タバコ・たき火等周囲に火気が無い事を確認してから始動させてください。
- ガソリン給油後は、タンクキャップを確実に閉めてください。緩んでいると運転中ガソリンがこぼれ気化したガスにより引火する恐れがあります。

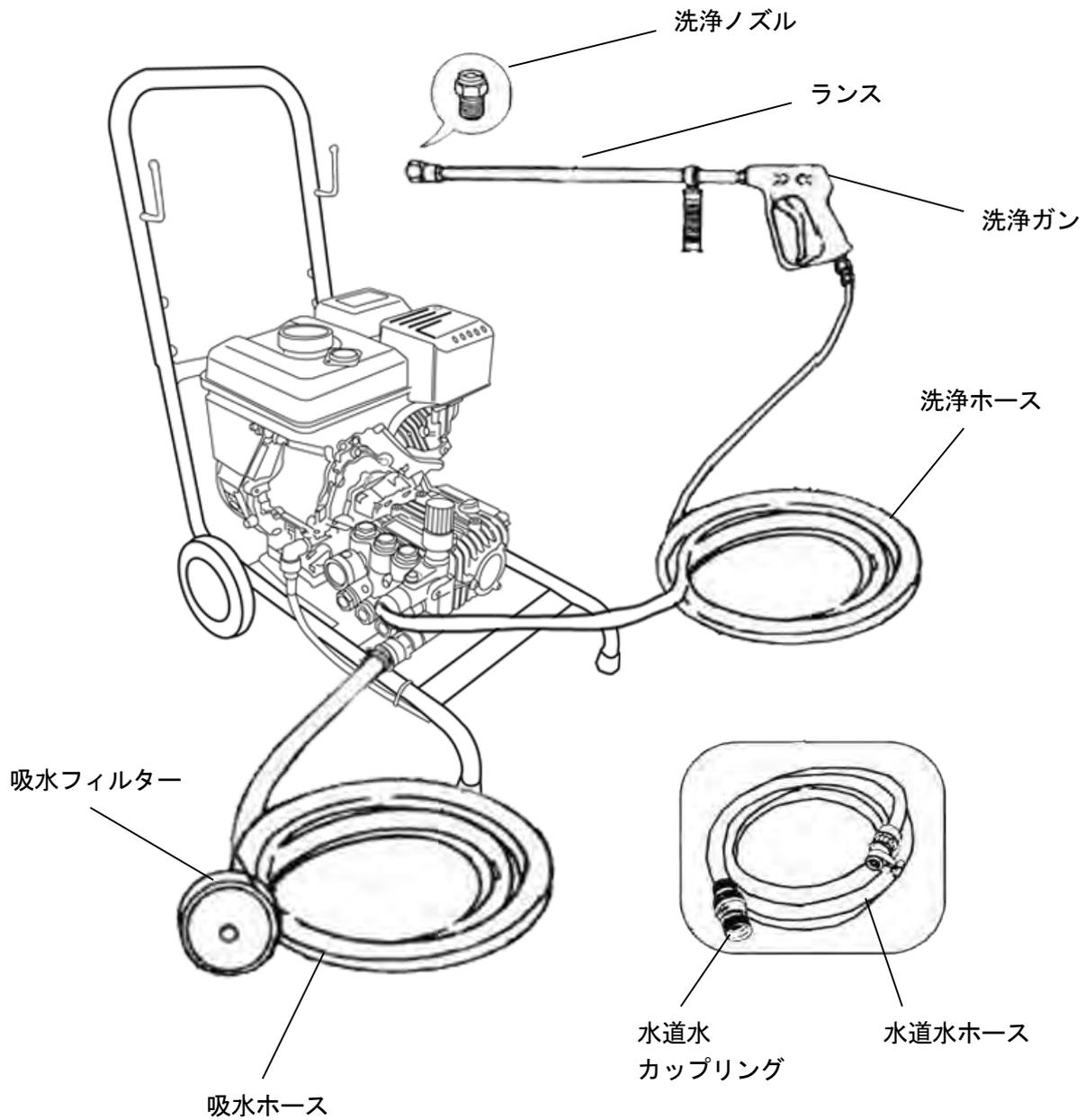
注意

- ランスのグリップは動かないようしっかり固定してください。
- グリップと洗浄ガンは両手でしっかり支えてください。
- 安定した足場で使用してください。
- エンジン停止後はホース内に圧力が残っていることがあります。使用後は必ず洗浄ガンの引金を引いて残圧を逃がしてください。
- 安全の為洗浄作業を行わない時は、必ず安全ロックをしてください。
- 安全ロックの効かない物や、引金が戻らない物、及び接続部分より漏れが発生するものは使用しないでください。
- 火災防止や、エンジンの排気が十分される為、使用中は建物及びその他の設備から2 m以上離してください。
- お子様など関係者以外は近づけないでください。
誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 機械は水平な所へ設置してください。急な斜面での運転は、オイルが最高油面でも適切な潤滑ができず、焼き付けトラブルを起こしかねません。
- 夏場、直射日光の当たる場所に設置して長時間運転すると、エンジンが止まる事があります、日陰に設置してください。
- 運転中、直後のポンプ、エンジン、マフラー付近は高温になります。ヤケドを負う危険がありますので、手を触れないでください。又マフラーの排気方向に可燃物を置かないでください。
- アンローダーは調整済みですから、修理以外はストッパーリングを動かさないでください。
尚規定以上に上げますと、危険であるばかりでなく、故障の原因になります。
- 使用しない時や移動の時は必ずガソリンコックを閉めてください。タンク内のガソリンがエンジン内部に流れ込み、始動できなくなる事があります。この場合、キャブレター掃除やエンジンオイル交換が必要になります。
- 凍結が考えられる場合は使用後、水抜きを行ってください。ポンプ内の水抜きを行う場合はホースを外しリコイルを引くのも一つの方法です。始動前には凍結していないかどうか確認し万一凍結している場合は解凍するまで暖かい場所へ置いて自然解凍を行ってください。
- ポンプの空運転はしないでください。パッキンが著しく磨耗します。又空運転に吸水するとヒートショックによりプランジャーが破損する事があります。
- 強い酸、アルカリの使用は避けてください。「PH5～9」の範囲内で使用してください。
- 研磨的な作用をする液体の使用はポンプの寿命を著しく短くしますのでご注意ください。又、異物混入防止の為、吸水ホースには、吸水フィルターを取付けて使用してください。
- ポンプ使用限界水温は40℃までです。それ以上高い温度の液体を使用しますと、ポンプの早期損傷につながります。

2 仕様諸元表

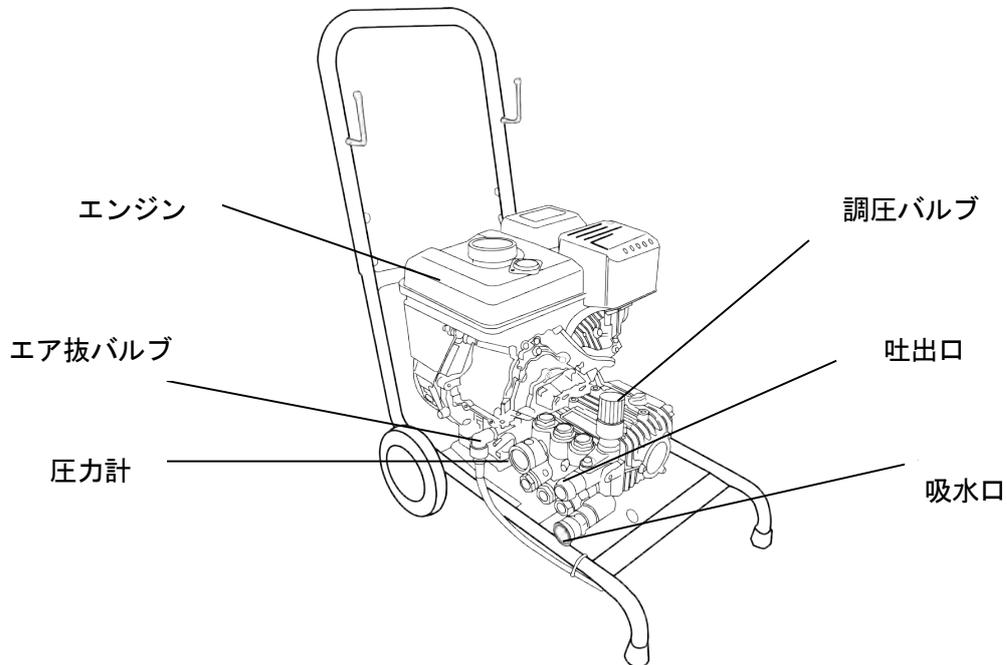
型 式	CK-1010G	CK-1513GSR	
ポンプ	三連プランジャー		
圧力制御	専用調整アンローダーバルブ	背圧式アンローダー	
ガソリンエンジン	リコイル式		
馬力(最大)	2. 8 (4.0)	4. 7 (6.3)	
最大使用圧力 Mpa (kgf/cm ²)	1 0	1 5	
総水量 (L/min)	1 0	1 3	
寸法 (mm) L×W×H	6 2 5 × 4 4 2 × 7 3 0	6 5 8 × 5 6 3 × 7 4 0	
重量 kg	3 2	4 2	
付 属 品	洗浄ホース	ゴムホース6M×30m	ゴムホース9M×30m
	ガン	P 3 1 - 0	
	ノズル	1 5 4 3	1 5 4 9
その他	水道水ホースセット 吸水ホース 3/4 吸水フィルター 工具一式	吸水ホース 1/2 (黒) 余水ホース 3/8 (黒) 吸水フィルター 工具一式	

3 各部名称・機能及び、基本操作

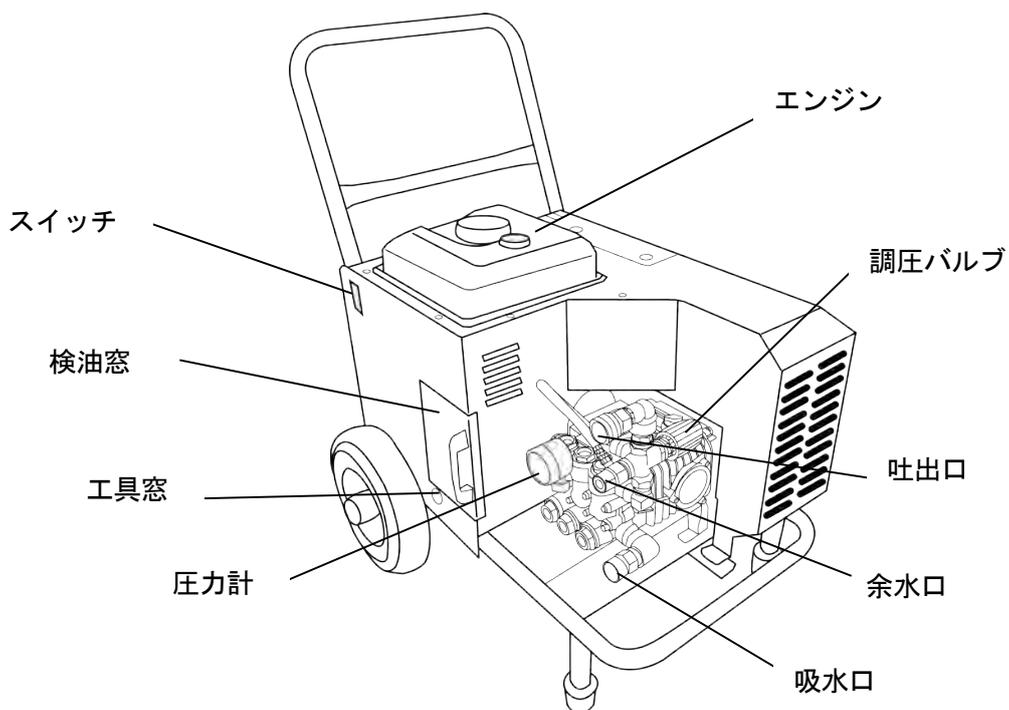


3 各部名称・機能及び、基本操作

CK-1010G



CK-1513GSR



4 作業操作手順

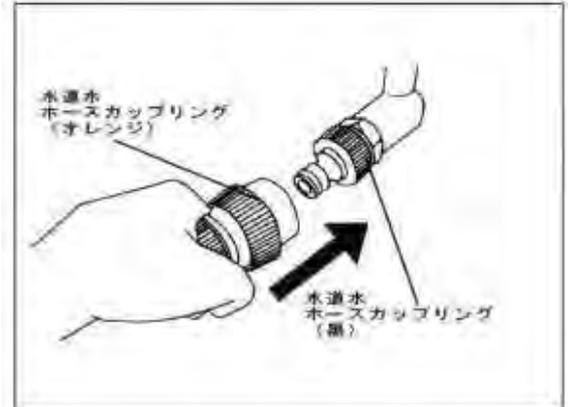
4-1 始動

1 水道直結する場合 (CK-1513GSR はできません)

- ①水道水ホースカップリングに(黒)を本機の吸水口に取り付け、水道水ホースカップリング(オレンジ)をカチッと音がするまで差し込みます。
- ②水道水ホースの口金を水道の蛇口につなげ、栓を完全に開きます。

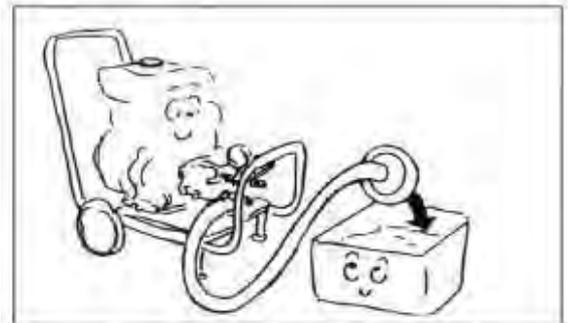
注意

- 水量が足りないと十分な性能が得られません。(最低水量 610 L)
- 接続部より漏れがないか確認してください。



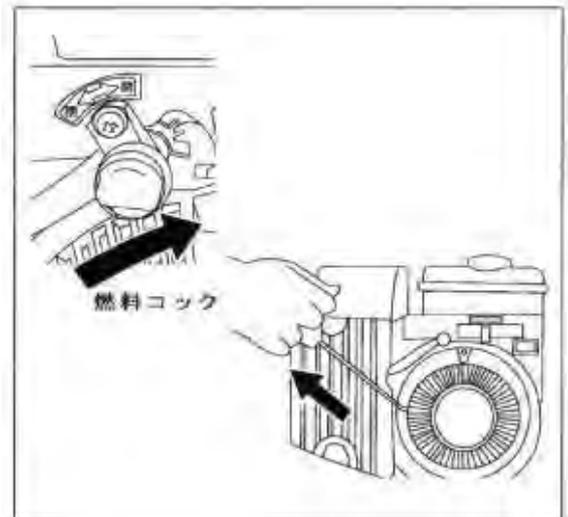
2 水おけから吸水する場合

- ①吸水ホースを吸水口に取り付け水槽の中にフィルター側を入れます。
(CK-1513GSR は余水ホースも)
- ②エア抜きバルブを開きます。
(エア抜きチューブの先から水が出ますので、設置場所にご注意ください。)
※CK-1513GSR には自動エア抜きが装備されています。



3 エンジンの始動

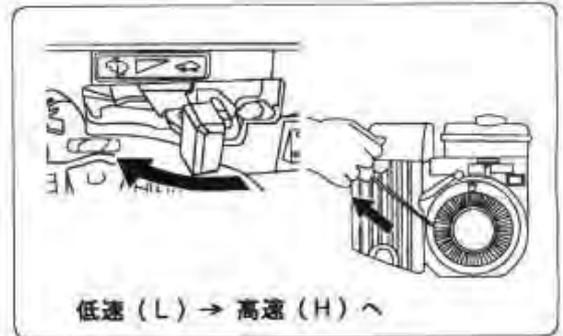
- ①燃料コックを開き、リコイルスターターを数回軽く引き、燃料を循環させます。
※GSR は後部のパネルを用いて行います。



4 作業操作手順

- ②スピードコントロールレバーを1/3程開き
リコイルスターターを一気に引っ張ります。

場合によってチョークレバーを引く事もありますが、
詳しくは別冊「エンジン取扱説明書」を
ご覧ください。



- 4 エア抜きチューブから(CK-1513GSR は余水ホース)
十分に水が出ている事を確認したら、エア抜きバ
ルブを閉じ、**スピードコントロールレバーを全開
にしてください。**
(水おけから吸水する場合)

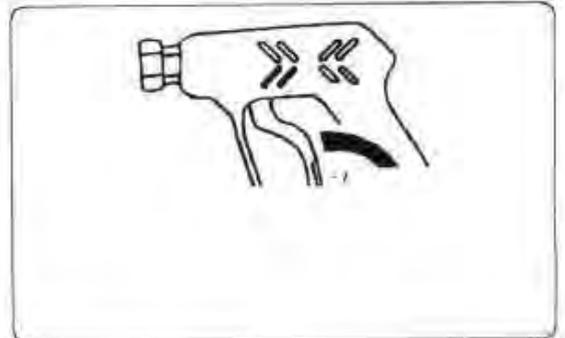
※水道直結の場合はエア抜きバルブの操作は必要
ありません。
(閉じたままにしてください。)-



- 5 ガンを開くとノズルからホース内のエアが抜け
水が出てきます。高圧の水が噴射されたら洗浄を
開始してください。

⚠注意

作業を中断する時はガンの安全ロックを
してください。



4-2 停止

- 1 作業が終了したら、エンジンはスロー回転にして
水道直結の場合は水道を止め、
サクションホースの場合は吸水ホースを水槽から
抜き出してください。
ガンを開いて吸水ホース及びポンプ内の水を抜い
てください。
(水道水ホースは負圧によりへこみますが異常では
ありません。)

⚠注意

この時、2分以上の空運転は避けてください。
パッキンの異常磨耗の原因になります。



4 作業操作手順

- 2 スピードコントロールレバーを低速側に戻し
20～30秒後スイッチを切ります。

すぐに止めたり、高速回転のままでスイッチを切るとアフターバーンが発生し、エンジンの寿命を短くします。

- 3 燃料コックレバーを『OFF』にします。



5 保守・点検

5-1 オイルの点検

☞ 留意: オイル交換を怠ると機械の寿命が著しく縮みますので、オイル量の点検は機械を水平に置き、オイルゲージを継足しだけでなく必ず規定時間にて交換ください。

エンジンオイル(毎回点検)

不足しているときはガソリンエンジンオイル(10W-30~40)を入れてください。

オイルセンサー付機種はオイルが不足しているとセンサーが作動し、エンジンがかかりません。

ねじ込まずにおこなってください。

※エンジンオイルは初回50時間
2回目以降は100時間毎に交換してください

☞ 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事ができますが火傷には十分ご注意ください。

ポンプオイル (毎回点検)

ポンプ上部にオイルゲージ棒がありますので、オイルを点検し、不足していたらガソリンエンジンオイル(10W-30~40)を入れてください。

ポンプのオイルドレンは本体下部(ポンプ真下)にあります。

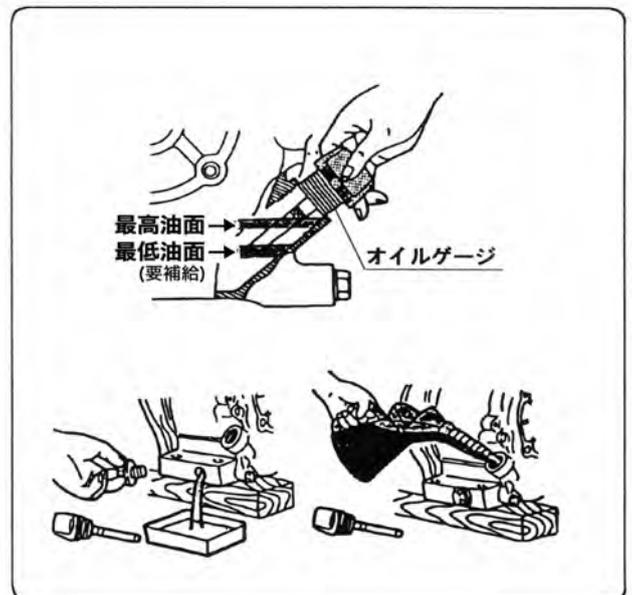
※ポンプオイルは初回50時間、2回目以降は200時間毎に交換してください

☞ 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事ができますが火傷には十分ご注意ください。

- 現地の外気温度に適合した粘度、品質のエンジンオイルをご使用下さい。
詳しくは別冊「エンジン取扱説明書」をご覧ください。
オイルが汚れていたり、少なかったり、又品質の悪い物を使用しますと、エンジンの寿命を短くします。常に良質できれいなオイルを規定量保つよう注意して下さい。

☞ 留意

機械が傾いているとオイルが入っていても正常に循環されない場合があります。
エンジンオイルはゲージの上限まで入れ、平地でご使用下さい



5-2 カバーの脱着

カバーの脱着

カバーA/Bを脱着してメンテナンスを行うとき下記の通り行ってください。

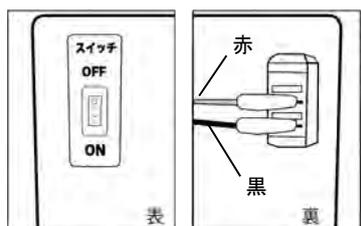
1. カバーA/Bを外すとき

- ① カバーA/Bを外す前に、リアパネルを開きスイッチ裏側からコードを抜いてください。
- ② カバーA/Bは8か所のボルトでフレームの防振ゴム（ゴムナット）に固定されています。
- ③ このボルトを外すとカバーA/Bをセットで外すことができます。セットになったカバーA/Bは分解しないでください。

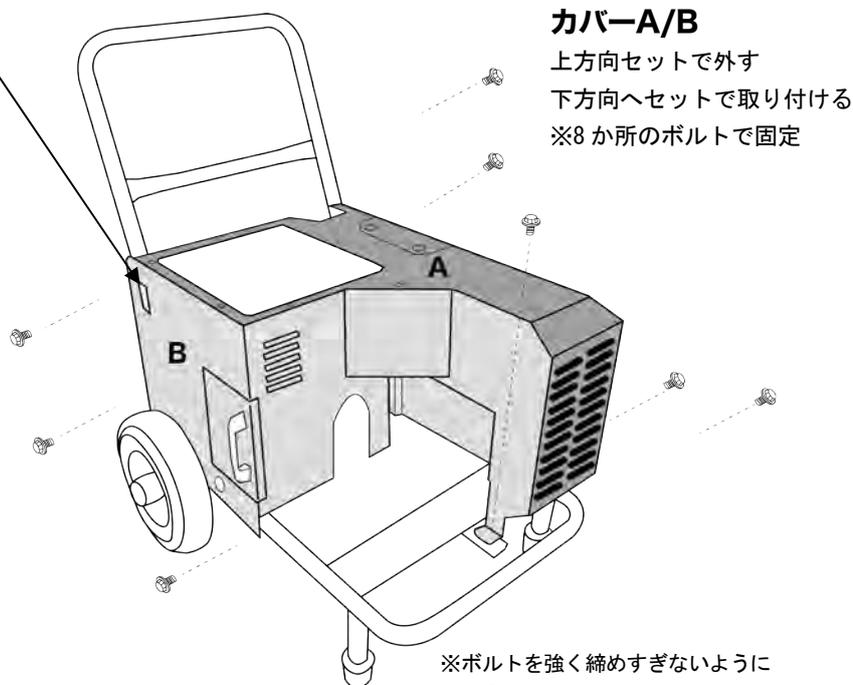
2. カバーA/Bをつけるとき

- ① ボルトは指定品（M6×20mmフランジボルト）を使ってください。
- ② ボルトは真っすぐに締めつけてください（斜めに締めないでください）
- ③ カバーA/Bを取付けた後、スイッチの裏側の配線（赤/黒）をしてください。
- ④ 防振ゴム（ゴムナット）を使っています。ボルトを強く締めすぎないでください。
- ⑤ 防振ゴム（ゴムナット）に緩みや割れがある、ボルトが固定できない場合には防振ゴム（ゴムナット）を新しいものに交換してください。

スイッチ



※リアパネルを開き、スイッチの裏側より赤と黒の配線を外してからカバーを取り外してください



6 トラブル対策

故障はできるだけ早期に発見して適切な対策をとることが大切です。現場トラブルは80%以上が吸入弁、アンローダーの砂、ゴミ詰まりです。次の表を参考に処置してください。修理不能な場合は弊社営業所、又はお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。エンジンにつきましては別冊「エンジン取扱説明書」をご覧ください。

現象	原因	対策
<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプを回しても全く水が出ない ・高圧ホースを外した状態でも水が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●吸水ホースの締め付け不良、又はパッキン不良 ●吸水ホースの穴あき ●ポンプ弁(吸入弁・吐出弁)のゴミ詰まり、又はひっかかり 	<ul style="list-style-type: none"> ★増締め、又はパッキン交換 ★交換(テープ等で応対処置) ★吸水口から強制的に水道水を勢よく流し込む、又はバルブ分解洗浄
<ul style="list-style-type: none"> ・水を吸わない 	<ul style="list-style-type: none"> ●エア抜されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ★エア抜バルブを開き、エア抜をする
<ul style="list-style-type: none"> ・規定の圧力が出ない ・圧力が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンローダー弁の作動不良(ゴミによる場合が多い) ●ノズルの摩耗、又はサイズの不適 ●ポンプ弁、弁座、アンローダー弁の摩耗 ●ピストンパッキンの摩耗 ●圧力計の劣化 ●吸水フィルターのゴミ詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> ●分解して洗浄 ★ノズル交換 〔ノズルは約100時間で摩耗のため圧力に影響します。〕 ●交換 ●交換 ●交換 ★分解・洗浄
<ul style="list-style-type: none"> ・圧力が変動する ・ホースに振動が発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ●吸水フィルターのゴミ詰まり ●吸水ホースの締め付け不良又は、パッキン不良及び穴あき ●ポンプ弁、アンローダー弁へのゴミ引っかかり 	<ul style="list-style-type: none"> ★分解・洗浄 ★増締め、パッキンの交換 ★吸水口から強制的に水道水を勢よく流し込む、又はバルブ分解洗浄
<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料切れ・水混入 ●燃料コックが閉じている ●エンジンオイル劣化、不足によりオイルセンサーが作動(1013GO, 1513GMのみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ガソリンを入れる、交換をする ★燃料コックを開ける ★オイルを入れる、交換する
<ul style="list-style-type: none"> ・作業中エンジンがストップする 	<ul style="list-style-type: none"> ●エンジンオイル不足によるセンサー作動(1013GO, 1513GMのみ) ●酸欠によるパワーダウン ●燃料に水が混入 	<ul style="list-style-type: none"> ★エンジンオイルを入れる、交換する ★換気、風通しの良い所で使用 〔炎天下、極端に温度の高い場所換気の悪い場所での使用は避ける〕 ★水抜き、燃料交換をする

表中の★印は、トラブル時現場対応が可能な対策です。

長期保管(2ヶ月以上)の際の方法

- ・燃料コックを閉じガス欠させてください。
- ・タンク内の燃料は燃料コックから全て抜いてください。
- ・キャブレター内の燃料は燃料ドレンより全て抜いてください。
- ・点火プラグをはずしてシリンダ内にエンジンオイルを少量(約10cc)注入しリコイルを数回まわした後、点火プラグをつけて圧縮のあるところまでまわして止めつけてください。

7 メンテナンスサイクル表

	内容	毎回	25H	50H	100H	200H	250H	500H
ポンプ	オイル点検、補給	○						
	吸水フィルター詰まり確認、清掃	○						
	配管締付、漏れ点検	○					●	
	各部締付点検(フランジ、フレーム等)			○			●	
	オイル交換			△		○		
	アンローダピストン、シート点検					●		
	パッキン類点検						●	
	バルブ点検							●
	ポンプ部ボルト、ナット締付点検	○						●
エンジン	各部ボルト、ナット締付	○					●	
	オイル点検、補給	○						
	燃料、オイル漏れ点検	○						
	エアクリーナ、リコイル周囲点検、清掃	○						
	オイル交換			△	○			
	燃料コック(フィルタ)点検、清掃			○				
	点火プラグ点検・清掃				●			
	バルブクリアランス点検・調整						●	
エンジン	燃焼室のカーボン除去						●	

- :ご使用者様による作業
- :サービスマンによる作業
- △:初回のみ

オイル エンジンオイル(JC オイルが最適です)
 ガソリンエンジン用オイル SJ級以上
 マルチグレード SAE: 10W-30~40 (防音は 10W-40 が好ましい)

ポンプオイル(JC オイルが最適です)
 ・上記エンジンオイル

8 警告ラベル貼付位置

裏側

注意

燃料コック操作

移動中や停止後は燃料漏れ防止の為必ず燃料コックを閉じて下さい。

OFF ON

取扱説明書に必ず記載されている注意事項を必ず読んでください。

キャブレター内の燃料を空にしてください。

キャブレター内の燃料を空にしてください。

キャブレター内の燃料を空にしてください。

警告

高圧力で噴射される水流は身体を傷つける危険があります。

- 噴射されている水流を手や体に当てたり、人体に向けないでください。
- エンジン停止後ホース内に圧力が残っています。

使用後は必ず洗浄ガンの引金を引いて、残圧を逃がしてください。

注意

- 海水、河川等不純物を含んだ水は使用しないでください。
- 2分以上の空運転は避けてください。
- 寒冷時は凍結防止のため、水抜きを行ってください。

取扱説明書をよく読み、安全にお使いください。

注意

半チヨーク運転厳禁

始動後はチヨークを「運転時(開)」位置に戻してください。

始動時(閉) ⇄ 運転時(開)

注意

火気厳禁

- 始動は必ずエンジン停止して行ってください。
- 燃料をこぼしたら確実にふき取ってください。
- エンジン周辺に可燃物がないことを必ず確認してください。
- 排気口付近に燃えやすい物をおかないでください。
- 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。

機械設置場所の注意

- 機械は平らな場所に設置してください。
- 周囲の壁、障害物より2m以上離して設置してください。
- 機械下部の壁、床面に当たることを避け、エンジンラジエターの取付けを行います。
- 乾燥地や建屋等の場所で使用しないでください。

オーバーヒートに注意

- 連続作業での使用は避け、エンジン停止後のクールダウンを必ず行ってください。
- スムーズな使用の為、作業中長時間は騒音を軽減して内部の冷却を促してください。

指定オイル使用

エンジンオイルはSAE 40を使用してください。

使用前に取扱説明書をよくお読みください。

注意

オイル確認

運転前に必ずエンジンオイルを給油棒にて確認してください。

本機はオイルセンサー付です。

オイルが最低レベルの場合、警告防止のためエンジンがかりません。最高レベルまで注油してください。

最高レベル

最低レベル

仕様表

型式 CK-1519GR

最大出力 6.3PS

ポンプ回転数 1800rpm

最大圧力 15MPa

排水量 13l/min

製造年

SEIMA 精和産業株式会社

高温注意

高温でヤケドします。触らないこと

注意

ラインストレーナー確認

ラインストレーナー付です。

定期的に取り出し、清掃を行ってください。



注意

- 運転前に必ずエンジンオイルを給油棒にて確認して下さい。
- 作業中断時に必ず、燃料コックを閉じて下さい。
- 長期保管する場合は、エンジンをかけたまま燃料コックを閉じ、エンジンを停止するまで運転して、キャブレター内の燃料を空にして下さい。

警告

高圧力で噴射される水流は身体を傷つける危険があります。

- 噴射されている水流を手や体に当てたり、人体に向けないでください。
- エンジン停止後ホース内に圧力が残っています。

使用後は必ず洗浄ガンの引金を引いて、残圧を逃がしてください。

注意

- 海水、河川等不純物を含んだ水は使用しないでください。
- 2分以上の空運転は避けてください。
- 寒冷時は凍結防止のため、水抜きを行ってください。

取扱説明書をよく読み、安全にお使いください。

高圧洗浄機の運転開始前に必ず下記空欄に必要なことがらを記入してください。
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	CK-1010G CK-1513GSR	ご使用開始年月日	
製造番号		ご購入先 (必須)	
ご購入年月日		※必ずご記入ください	TEL ()

アフターサービスについて

保証規定

1. 保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2. 適用除外 ●保証期間中でも下記の場合には適用いたしません。

- (1) 不当な修理や改造による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の摩耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3. 本書はお買い上げの納品書(納入日が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください。

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。
是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所/精和産業トップページ右側「ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

修理サービス

ここからも登録できます→



修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター 〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	TEL 052-412-1717
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495